

児童館



太山寺児童館は神戸市西区の学園都市にあります。この地域には多くの子育て世帯が暮らしており、近隣には保育園や幼稚園、そして2校の小学校があります。児童館には、午前中は乳幼児の親子がたくさん来館され、親子で安心して過ごせる遊び場として、そして母親同士、子ども同士の交流の場として賑わっています。また、地域のお母さんたちが若いお母さんたちの支援をする、活動の場としても活用していただいています。

午後は、学校から帰ってきた小学生たちがやってきて、元気いっぱいにお友だちや、先生、近隣にある大学の学生ボランティアのお兄さん、お姉さんと遊び、そして時には、地域のお年寄りの方にコマ回しなどの遊びを教わったりと、放課後の時間をたくさんの人たちの中で過ごしています。

児童館は名前の通り、児童、こどもの場所というイメージがあります。もちろん子どもたちの場所ではあることは確かですが、もっと地域の幅広い年齢層の方に児童館に来てほしいと願い、様々な取り組みも行っています。大学生のお兄ちゃんやお姉ちゃん、子育てを終えた方、おじいちゃんやおばあちゃんなど、たくさんの人たちとの関わり、見守りの中で、子どもたちには色々なことを感じ、学び、のびのびと成長して行ってほしいと願っています。



幼稚園



「一緒に作ったお月見団子」

ちとせ幼稚園では、中秋の名月を前に全園児でお月見団子クッキングをしました。その日は、自分たちで白玉団子の粉をこねて丸めて作ろうと、朝から「先生！自分のエプロン持ってきたよ！」「何時から始まるの？」と楽しみに登園してきた子どもたちでした。9時の始まりにエプロンをつけて待ち構えている姿や、自分のことはもちろんのこと年少児のお友だちにエプロンをつけてあげたり、「こうやって丸めるのよ」と見本を見せたり、「ボール持っとくから粉混ぜて」とリードしたり、お団子が少し大きい子には「それちょっと大きいよ！」とアドバイスしたりする年長児の姿。そして、その姿を真似て生地を丸めたり運んだりする年中・年少児の姿がありました。異年齢での交わりの中で、自分より小さいお友だちに優しく関わったり頼られたりすることが自信になり、子どもたちにとって次への意欲と繋がっています。こうして異年齢で関わってこそ出てくる思いやりの気持ちを育めるよう、今後も子ども同士の遊びと関わりの場面をたくさん作り見守っていきたいとおもいます。



全国リーダー研修会 ～熊本YMCA阿蘇キャンプ場にて～

「初心」

神戸YMCA余島リーダー会3回生
矢吹 舞

今年の全国リーダー研修会のテーマは「初心」である。初心と聞いて始めに思い浮かぶものは、何かを始めた時の最初の気持ちであった。リーダー活動で言うと、1回生の時、リーダーを始めた時の気持ちが初心だと思っていた。しかし、それだけが初心ではないと思うようになった。自分が何か頑張ろうと思った時、何かに気づき意識が変わった時、初心は1年目だけでなく、2年でも3年でも何年たっても感じられるものだと思った。そして、初心は自分から意識しないと忘れてしまうものであるとも感じた。最初の気持ちは時が経つにつれて薄れていく、経験を積んでからは初心を感じる意識が薄れていくからである。リーダー活動の中で、キャンプ、野外活動、体操、バスケットなど、活動は様々であるが、例えプログラムの内容が同じでも毎回同じものを繰り返しているのではない。初心を持ち続けることで、日々新しいものに向かって挑戦することができると感じた。

この全国リーダー研修会に参加して、神戸YMCAの活動だけでは発見できなかった気づき、当たり前なことなんてないことを知った。私はリーダー活動を始めた時から周りには多くの仲間がいて、活動する場所があった。しかし、それが当たり前ではないと知った。全国には少ない人数で活動を行っていたり、一からリーダー会を作り活動を始めたところもあった。自分たちが今の活動を行えるのは、多くの仲間と活動できる場所があるからだと改めて気付いた。もっと一人ひとりを大切に、一人ひとりの意見を尊重して、この多くの仲間がいるからこそできている活動を続けていきたい。

全国のYMCAのリーダーと関わって、自分たちは同じ願いを持って活動する仲間、子どももリーダーも共に成長できる活動場所にも恵まれていると思った。この人と場所をさらに輝かせるためには、一人ひとりが認められ、受け入れられることが大切だと感じた。また、自ら目標を持ち実現しようとする努力することで一人ひとりが輝くことができると感じた。

また、神戸YMCAの活動だけでなくもっと全国のYMCAと関わる機会を増やしていきたいと思った。この研修会で出来たつながりを、これからも大切にして、互いに刺激し合い活動していきたいと思った。



感謝・寄付

(順不同・敬称略)

・寄付
今西 時子
柴田 純

・国際協力募金
(九州豪雨 倉)
西宮ワイズメンズクラブ



東日本大震災の復興支援のための募金活動を続けておられる「福池小学校チャリティーマラソンクラブ」の活動をご紹介します。

「私たちの思いを届けてね」

神戸市立福池小学校 大野 勉

毎朝、7時45分の開門と同時に、たくさんの児童が登校してきます。そのうち、3年生～6年生までの100人ほどが、教室に荷物を置いて、運動場に出て集合します。7時50分。「おはようございます。」元気なあいさつとともに、準備体操が始まります。7時52分、学年ごとにスタート場所が決まっています。「ようい、ピー！」6分間走が始まります。自分の力に合わせて、それぞれのペースで走ります。1周およそ200mのコースを4周～7周走ります。7時57分、「あと1分」の声が聞こえます。子どもたちのペースが速まります。ラストスパートです。「ピー」7時58分、6分間走が終了します。その後、スクワット、クーリングダウンを行い、8時0分、朝のマラソンクラブの活動が終わります。こうして、福池っ子マラソンクラブの子どもたちは、学校生活を始めます。2年前までは、健康のためのマラソンでしたが、昨年の4月からは「チャリティー」という言葉が加わりました。被災者の皆さんへの思いを忘れることなく、また、元気に走れることに感謝して、募金をするにしました。1回走って10円募金する子がいます。1学期走り終えて、まとめて持ってくる子もいます。私が預かった募金は、神戸YMCA東日本大震災復興募金にあてています。子どもたち一人ひとりの小さな取り組みですが、賛同者が増えて、少しずつ大きな取り組みになってきています。



神戸YMCA様

私たちの思いを東日本へ届けてください。

福池小学校チャリティーマラソンクラブ

*大野勉先生は、神戸YMCA常議員・神戸ポートワイズメンズクラブのメンバーでもあります。

ソナタ 奏鳴曲 No.54



総主事 水野雄二

大丈夫！ だいじょうぶ！

こんな詩があります。皆さんはご存知でしょうか？
 「♪なんのために生まれて なにをして生きるのか
 こたえられないなんて そんなのはいやだ！ (中略)
 そうだ うれしいんだ 生きるよろこび
 たとえ胸の傷がいたんでも…♪」
 そう、アンパンマンですね！ 2歳の孫たちが、詩の意味もわからず、しかし圧倒的な支持をもって主人公を応援しています。子ども時代は、誰も「愛と正義」のヒーローが大好きで、その生き方に倣いたいと思うのではないのでしょうか？ しかし、人間は幼い頃から悪いことも覚え、だんだん不正義や不条理な世界にも足を踏み入れていくものです。そして、善悪を判断できるようになる「自律」の道を経て、大人へと「自立」していくのでしょうか。
 昨今の子どもの「いじめ」や「自殺」の報道には心が痛みます。他愛もない軽い「いじめ」は子ども時代には誰もが経験するものだとしても、悪質な犯罪的な「いじめ」は許されないことですし、それに打ち勝つ力も育ってほしいと願わずにはおられません。

私も小学校の時、短期間ですが、いじめられた経験があります。田舎で少数派のキリスト教主義学校に通う私は、悪童の「対象」となったのかもしれない。悔しくて悲しく、泣いて帰ったのを覚えています。どうやって乗り越えたのか忘れましたが、きっとサポートしてくれる「私のアンパンマン」がいたのでしょう。

「大丈夫！」という言葉が大好きです。どんな壁にぶつかっても、いじめられても、悲しい時があっても、きっといつか解決するものだという信頼が大事です。「希望学」で有名な玄田有史氏は『希望のつくり方』という本でこのように書いています。「大きな壁にぶつかったときに、大切なことはただ一つ。壁の前でちゃんとウロウロしていること。ちゃんとウロウロしていれば、だいたい大丈夫。」

「大丈夫！ だいじょうぶ！」
 こんな声が「アンパンマン」の正体では？



～神戸YMCA高等学院10周年記念同窓会～

さる9月1日(土)に神戸YMCA高等学院の10周年記念同窓会をリバティーホールで開催しました。このリバティーホールは、毎年卒業式をしている場所で卒業生にとっては学校の次に馴染み深い場所です。高等学院はこの10年間で173名の卒業生を社会へ送り出していますが、そのうちの60名に教員を加えた82名がこの同窓会に集まりました。思い出のスライドショーや卒業生による声楽や演奏などのパフォーマンスという内容で約2時間という短い時間でしたが、久しぶりに再会する仲間と近況を語り合うなど盛り上がった時間となりました。神戸YMCA高等学院はさまざまな理由により不登校問題を抱えてきた者たち、進学した学校が合わずに転校してきた者たちが入学してきます。この会に集まった卒業生の話の聞いているとYMCAを自分の居場所として捉えていたように感じ、嬉しい思いでいっぱいになりました。また、現在は学生の者、社会に出て働いている者、母親として育児をしている者などさまざまですが、ひとりひとりが力強く日々を過ごしていることが話しの端々から伝わってきました。若者たちが社会に羽ばたいていく準備をする場所がYMCAにあることを嬉しく思うとともに、誇りに思ったひと時でした。(高等学院 水野宏明)



神戸YMCA職員 中道愛子



「インターナショナル・ワークキャンプ」報告
 10月1日～7日の期間、アジア・太平洋YMCA同盟主催「インターナショナル・ワークキャンプ」に、日本のYMCAからのスタッフとして参加させていただきました。開催地はインドネシア第2の都市スラバヤで、アジアの名が集い、共に7日間を過ごしました。今回のワークキャンプは、スラバヤYMCAにおけるワーク活動や地域のニーズに沿ったオフとして位置づけられていました。スラバヤYMCAは、大都会の中にありますが、経済的な問題を抱え、また現地の若者にとっては、知識度も低く、どのようユースクラブを立ち上げるか、活動していけばいいのかわからないところからスタートしているのが現状でした。私たちは、ワークキャンプを通して何事もありません。ゼロから生み出すことの難しさを痛感しました。しかし、そこには言語や文化の違いがあっても、ゼロから生み出すことの難しさを痛感しました。日本や他国で行われている活動が少しでも役に立ててもらえるよう、私たちはそれぞれ経験や知識を伝えるためスラバヤYMCAの仲間と向き合いました。様々なことを吸収しようとするスラバヤの人たちと私たちの想いが通じ合った時の喜びは本当に大きなものでした。同時に、世界には他者との懸念や不安、互いの弱みがあることも多く、仲間の命を懸けてくれる側面も感じることができました。スラバヤYMCAは、今から新たな道を歩もうとしていますが、共に歩む仲間と繋がりを大事にしたいです。現状を伝えていく貴重な機会を心より感謝をしたいと思います。

- ウエルネスセンター三宮 ☎078 (241) 7202
- YMCAホームヘルパーの事務所 ☎078 (241) 7237
- ランゲージセンター ☎078 (241) 7204
- 専門学校 ☎078 (241) 7203
- 西宮YMCA ☎0798 (35) 5987
- 三田YMCA ☎079 (559) 0075
- 余島野活動センター ☎0879 (62) 2241
- 国際・奉仕センター ☎078 (241) 7204
- ウエルネスセンター学園都市 ☎078 (793) 7401



Information

- 西神戸YMCA ☎078 (793) 7402
- 西神南YMCA ☎078 (993) 1560
- 須磨YMCA ☎078 (734) 0183
- YMCA保育園 ☎078 (794) 3901
- 西宮YMCA保育園 ☎0798 (35) 5992
- 西神戸YMCA保育園 ☎078 (792) 1011
- YMCAちとせ幼稚園 ☎078 (732) 3542
- 西神戸YMCA幼稚園 ☎078 (997) 7705
- 西宮つとがわYMCA保育園 ☎0798 (26) 1016

ウィンタープログラムのご案内

最近の子どもたちの中には、考えたり、工夫したり、チャレンジをしなくとも簡単に楽しさや刺激が手に入る遊び、すでに決まっている遊びが氾濫しています。これは、子どもたちにとって本当に楽しい遊びなのでしょうか。

YMCAキャンプやプログラムは、まず子どもたち自らが楽しむことを考えて、創造されています。子どもたちが楽しくなると、自ら関わる主体性が生まれます。その主体性をもって、チャレンジを達成することができると、自分に自信が生まれます。そうすると、他人も認められるようになります。そして、認めあえる仲間がいると、社会性が生まれると同時に、自分と仲間の理解が進みます。それは、新たな自分を生み出すことになり、人とつながることを知ることができます。そして人と何かに取り組むようになると、自らの役割を学び、その能力を身につけます。また、様々な場面や人に合わせ、自分の気持ちを考え、行動を判断するようになります。この過程が、子どもたちを全人的に成長する遊びであり、本当に楽しい遊びではないでしょうか。

この冬、YMCAでは、信州志賀高原でのスキーキャンプ、神鍋高原での雪遊びキャンプ、そしてウィンタースクール、各種講習会などを企画し、たくさん子どもたちと本当の楽しさ共有できることを願っています。



第27回 神戸YMCA クリスマスカードコンテスト

- 【対象】** 幼児の部 (3~5歳児)・小学生の部 (1年~6年生)
- 【応募方法】** ・手作りのものであること。
・サイズ: 出来上がり22cm×15cm以内 (規定外の場合は審査できません)
作品が二つ折りカードの場合、内側か外側のどちらか片面のみが審査対象になります。
- ①住所 ②電話番号 ③氏名 ④性別 ⑤生年月日 ⑥年齢・学年
⑦学校・団体名 を添付し、事務局へ持参または郵送してください。

【お問い合わせ/作品送付先】
〒650-0001 神戸市中央区加納町2-7-15
神戸YMCAウエルネス三宮
クリスマスカードコンテスト事務局 宛
TEL 078-241-7202 (担当:小菅)

【応募締切】 2012年11月30日(金) 17:00
神戸YMCA必着 (住所上記)

【作品発表】 応募された作品は
12月10日(月)~12月25日(火)の期間中、
掲示いたします



第26回最優秀賞 (幼児の部)

★★★★★★★★ お礼 ★★★★★★★★★★

神戸YMCA学院専門学校ホテル学科ブライダルコースでは、今まで学んできた集大成として、卒業前に学生が企画と運営を行う模擬挙式と披露宴を行っています。2012年度は初めての試みとして、新郎・新婦役を一般に募集し、一組のカップルと共に模擬挙式と披露宴を作り上げていくこととなりました。ホームページやFacebookへの情報掲載、加えて神戸新聞様にも記事として取り上げていただき、多くの方にご応募をいただきました。この紙面をお借りしてお礼申し上げます。



神戸YMCA学院専門学校
ホテル学科 ブライダルコース一同

Photo Topics



「日本語学科入学式」

10月4日(木)、神戸YMCA学院専門学校日本語学科の秋の入学式が行われました。今回の新入生は中国、台湾、香港、韓国、フィリピン、ネパール、バングラディッシュ、ベトナム、アメリカから、男子24名、女子25名、合計49名です。9月に日本と諸外国の関係が微妙になり、影響を受ける学生が増えるのではないかと心配しましたが、入学辞退者は一人も出ず安心しました。これから2015年3月の卒業まで、一生懸命に日本語を勉強して、自分で決めた目標に一歩でも近づいてください。



「たるみ健康いきいきウォーク2012 開催」

去る10月13日(土)に垂水体育館が事務局として、たるみ健康いきいきウォークが開催されました。当日は秋晴れの中、参加者152名がウォーキングを楽しめました。ルート上のチェックポイントでは関西国際大学、頌栄短期大学の学生の指導の下、ニュースポーツに挑戦しました。今回は「YMCAワールドチャレンジ」と日程が重なり、手にしたボールを複数のネットにシュートするポケットに参加者の皆さんとチャレンジしました。垂水の秋を存分に感じることでできる素敵な1日となりました。



「高等学院入学式」

10月3日に神戸YMCA高等学院の後期入学式を行いました。当日は晴天に恵まれ、1年生3名、2年生3名の計6名の新入生が新たな一歩を踏み出しました。さまざまな思いで入学してきていることであろう卒業に向けて一歩一歩確実に進んでいってほしいと願っています。また、ゆったりとした雰囲気の中神戸YMCA高等学院では自分らしさを出すことができ、互いに認め合いながら歩むことができると信じています。

人事のお知らせ

9・10月号で人事のお知らせを掲載すべきでしたが、記載漏れがございましたので、お詫び申し上げ、改めて掲載させていただきます。

7/1入職 吉田 真由巳さん
(YMCA保育園)

★★ 個人消息 ★★

【ご逝去】 謹んでお悔やみ申し上げます。

- 9/3 田村 光さん (カレッジ) ご義母様
- 9/9 中村良平様 (元維持会員)
- 9/11 石坂哲郎様
(神戸YMCA名誉会員、神戸ポートワイズメンズクラブ会員)

【ご誕生】

- 8/30 山本正高さん (ウエルネスセンター学園都市)
ご次男 将輝 (まさき) くん
- 8/31 興津貴大さん (CSC・須磨体育館)
ご長男 海生 (かい) くん